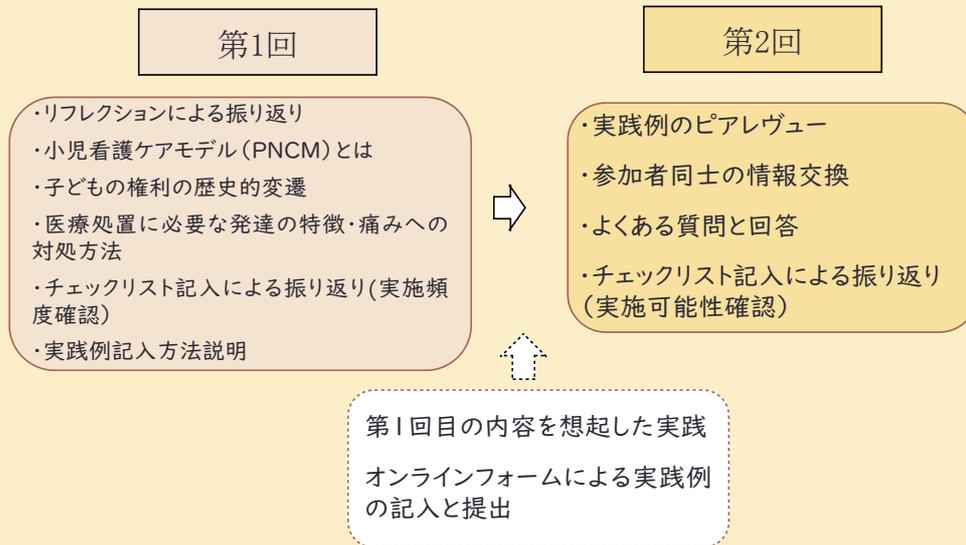


2021年に実施した講座の主な内容と成果



スケジュール(2021)

時間	1回目(11月11日) 内容	方法
13:30~14:00	リフレクションとは	講義 ・リフレクションの定義と方法 ・参加者自身について振り返る
14:00~15:00	小児看護ケアモデルとは 倫理的看護実践、プレパレーションを取り入れたケアの考え方	小児看護ケアモデルの基本知識 ・子どもへの倫理的看護実践の重要性 ・心理的準備と倫理的看護実践のジレンマにおける考え方 ・日頃の実践を振り返るチェックリスト記入 (Google Formによる送信)
2回目(11月25日) 内容		
13:30~14:00	実践例の紹介 実践例の記入	・実践例紹介 ・実践例記入用紙記入 医療処置やケアなどの看護実践について1場面を想起し、ケアモデルの項目に対応または項目以外の具体的な実践と子ども・家族の反応を記入する。(Google Formによる実践例の記入・送信)
14:00~14:30	各自の実践例の紹介・情報交換 質疑応答	・各自の実践例の紹介(ブレイクアウトルーム) ・各自の事例からの気づき、感想などをまとめる
14:30~15:00	まとめ	・質疑応答・ディスカッション ・実践状況についてチェックリスト記入 (Google Formによる送信)

1回目と2回目講座における各項目の回答者数の比較

PNCM 24項目	1回目講座；実施頻度				2回目講座終了時；実施可能性			
	いつもしている	だいたいしている	あまりしていない	していない	いつもできそう	だいたいできそう	あまりできそうにない	できそうにない
① 担当であることを子どもに挨拶・自己紹介している	5	3	1	0	9	0	0	0
② 医療／看護者／親のうちの誰かが、検査・処置について、子どもに説明が済んでいるか、確認している	3	0	6	0	7	2	0	0
③ 検査・処置があることを、子どもはいつ頃教えてほしいと思っているか、事前に子どもに確かめている	0	0	5	4	4	4	1	0
④ 検査・処置をいつ実施するか子どもに伝えている	2	3	4	0	6	3	0	0
⑤ (説明時／検査・処置時に) 親が付き添うか否かは、子ども・親の希望にそって決めている	3	3	1	2	6	2	1	0
⑥ 親の待機場所を子どもと親に確認している	4	3	1	1	8	0	1	0
⑦ 子どもへの説明内容と方法を親に確認している	1	1	5	2	5	4	0	0
⑧ (親がいても親とは別に) 子どもの目の高さで、検査・処置の目的・内容(方法/手順)を子どもに説明している	3	3	3	0	7	2	0	0
⑨ 子どもが「イヤだ」と抵抗し始めた場合、ヤル気になるタイミングを待っている	0	7	2	0	2	7	0	0
⑩ 子どもが恐怖感を感じないような工夫をしている	2	6	1	0	4	5	0	0
⑪ 検査・処置の進行に合わせて順々に説明したり声かけしたりしている	4	5	0	0	7	2	0	0
⑫ 子どもが言ったり聞いたりしたことに、適切に答えている	3	6	0	0	6	3	0	0
⑬ 子どもが泣いても押えつけずに、他の方法で対処している	0	5	2	2	1	6	2	0
⑭ お気に入りのものを持参することを認めている	6	3	0	0	9	0	0	0
⑮ 検査・処置から他へ向く様に子どもの気をそらしている	4	5	0	0	3	6	0	0
⑯ 検査・処置が長引いた場合、途中経過を親に知らせている	2	7	0	0	5	4	0	0
⑰ 医療従事者同士で検査・処置に関係ないことを談笑しないようにしている	3	4	2	0	5	4	0	0
⑱ まだ全過程が終了していない状況で、あたかも全過程が終了したような表現はしないようにしている	2	3	3	1	3	6	0	0
⑲ 検査・処置が終わったことを、ことばで伝えている	8	1	0	0	9	0	0	0
⑳ 子どもの頑張りを褒めている	9	0	0	0	9	0	0	0
㉑ 「ご心配でしたね」と親の気持ちをねぎらっている	2	6	1	0	7	2	0	0
㉒ 親に対して、子どもが頑張ったことをほめるように働きかけしている	1	5	2	1	8	1	0	0
㉓ 検査・処置後、これから守るべき注意事項を、説明している	4	5	0	0	7	2	0	0
㉔ 子どもの検査・処置後の反応を確認している	3	4	2	0	7	2	0	0
回答延べ数	74	88	41	13	144	67	5	0
回答数平均	3.1	3.7	1.7	0.5	6.0	2.8	0.2	0.0

PNCM項目について1回目講座時の実施頻度”いつもしている”と2回目講座終了時の実施可能性”いつもできそう”の回答者数比較 (n=9)

